

# 唐土訓象圖彙

自九至十一

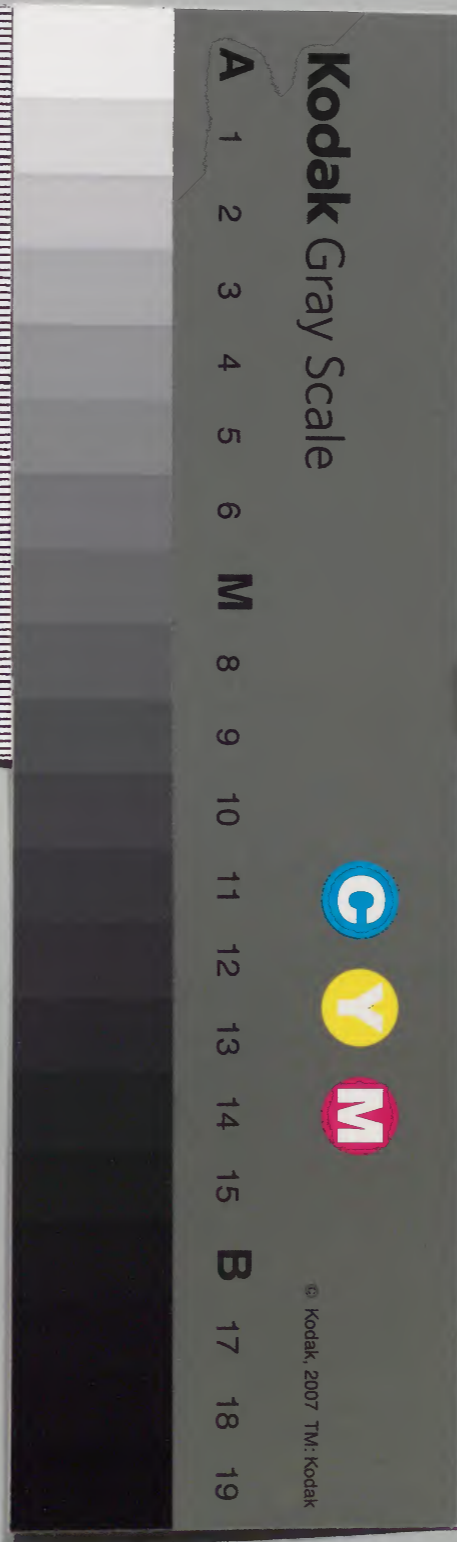
農商務省  
圖書  
第一卷  
第五册

太政官文庫			和
	一	二	書
	〇	九	門
五	七	九	
册	架	函	辨

内閣文庫			和
	一	二	書
	二	九	類
八	五	九	
四	册	號	
函			
二			
三			
架			

内閣文庫	
番號	和 11299
册數	5 ( 4 )
函號	184 361

典故





唐土訓蒙圖彙卷之九

器用之三

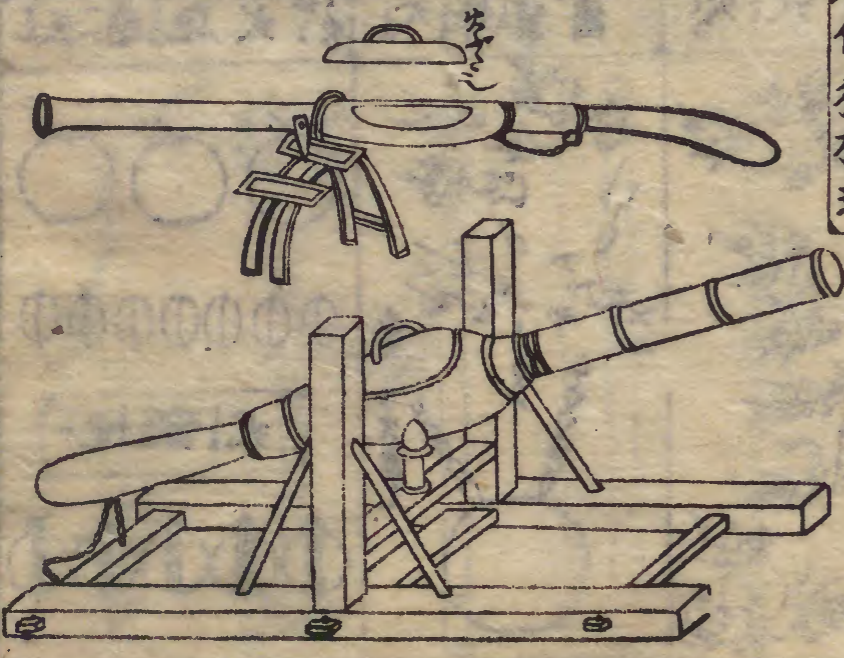
震天雷

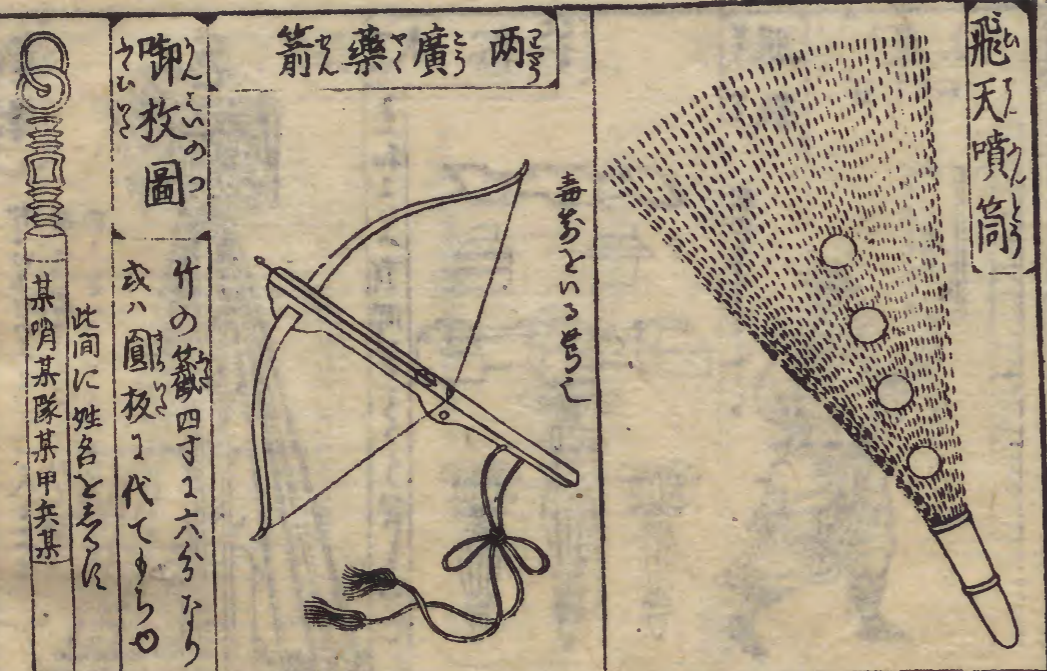
兵器

此器重五百斤 鉛子の教百と容うあ重さ四斤 此れも弾石と和ふや火矢を大筒とをいふやこれ城と攻敵を利するの利器なり



佛狼機式





兩廣藥箭

飛天噴筒

御杖圖

竹の葉四寸一六分なり  
或ハ圓板一代てしらひ  
此間に姓名とまゝに  
某哨某隊某甲兵某



笏

判子

鉤

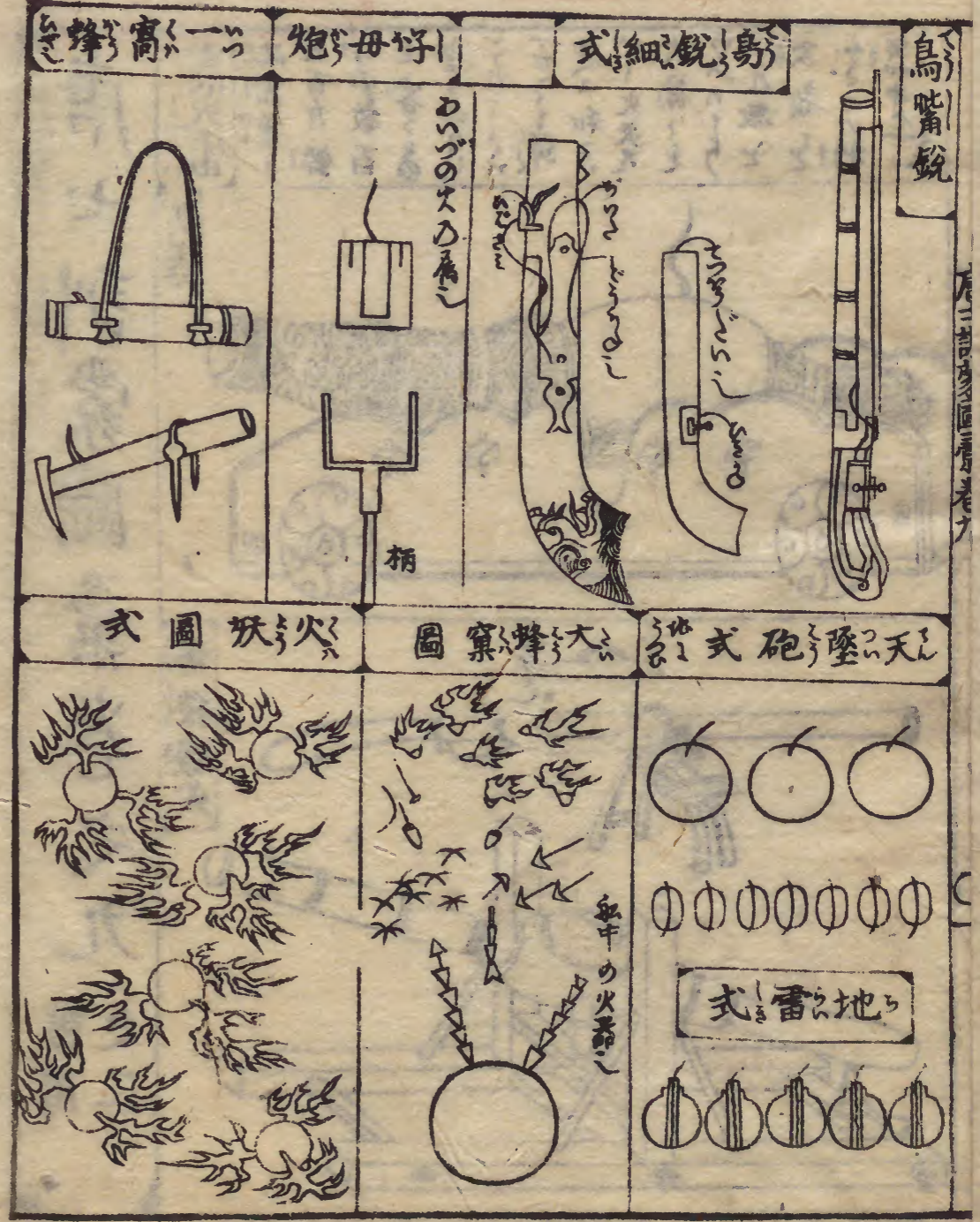
式

棍

笏

天蓬鏢式

内外皆鋒刀横長二尺柄  
長八九尺或一丈一  
兵馬歩戰第一利器也



高蜂

母仔

式細銃

鳥嘴銃

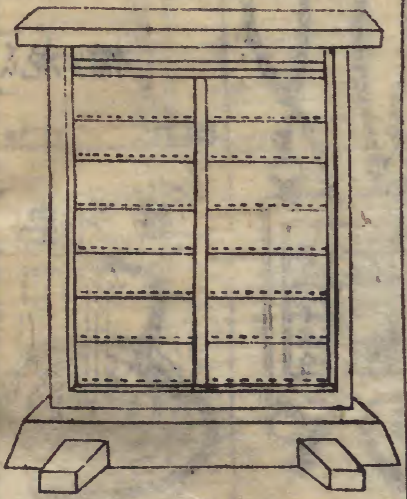
式圖妖火

圖窠蜂大

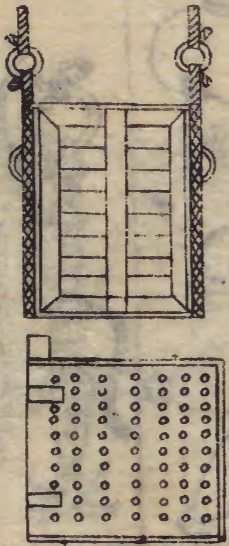
式砲墜天

式雷地

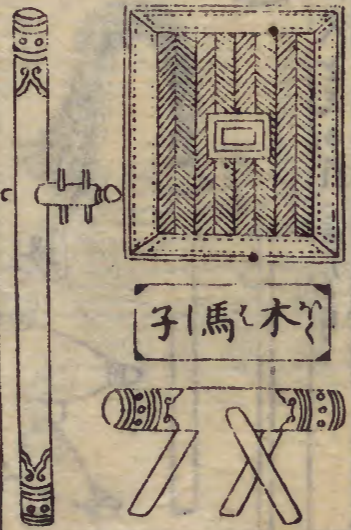
設物同何敵門暗カ



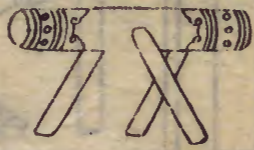
版と牌



板脚は狗 芭皮の竹



子馬木



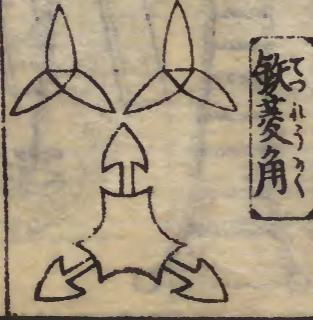
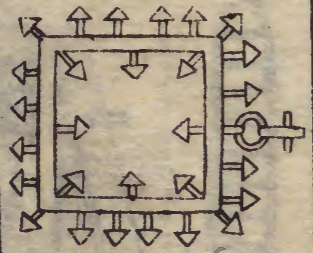
つと者 櫛の木



櫛の夜



しりの禽蹄の摺



鉄菱角

溢地



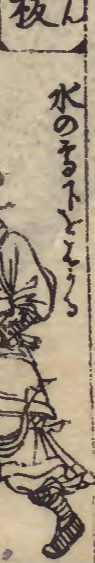
鐵疾梨



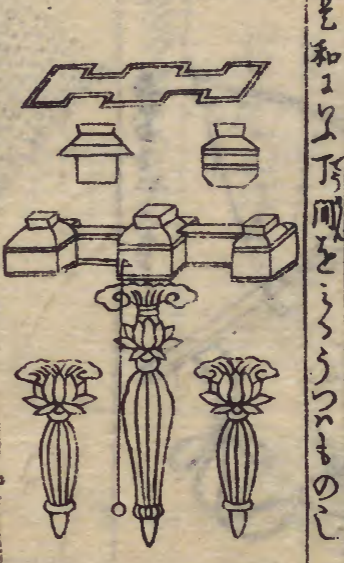
竿と度



照板



水



望樓



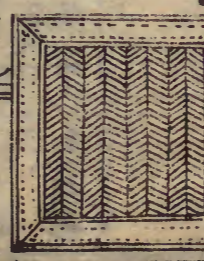
和の望樓... 至て敵よせ... の... に...

唐土割家園景卷九

版鐘と垂



篋籬芭



水用 囊浮



式組飛

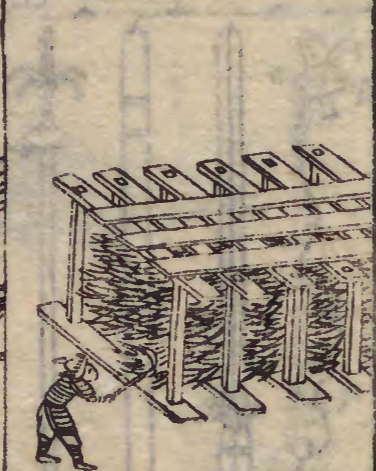
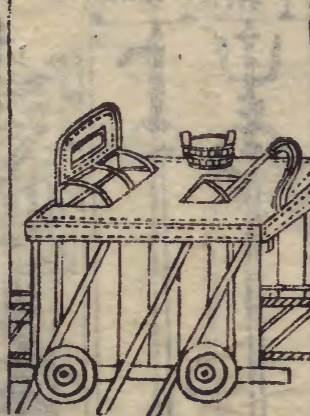


善水と遊ぶ... エと... 向の... 主大... てお... とく... 河と... く越へ

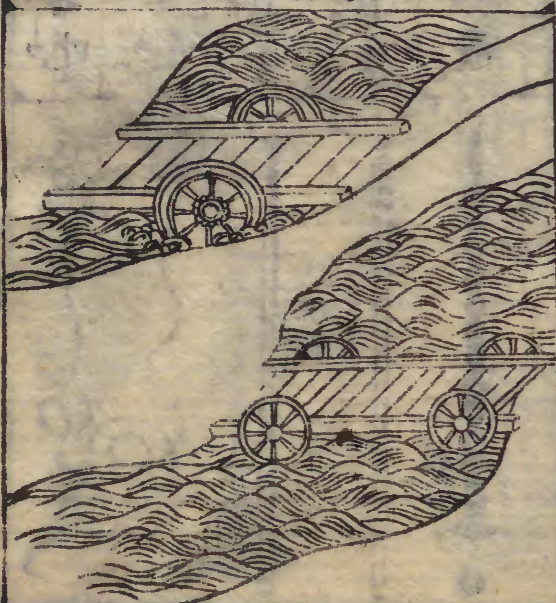
標車頭上 笠風傘 具せ城を 車頭 器上用 城と 道地



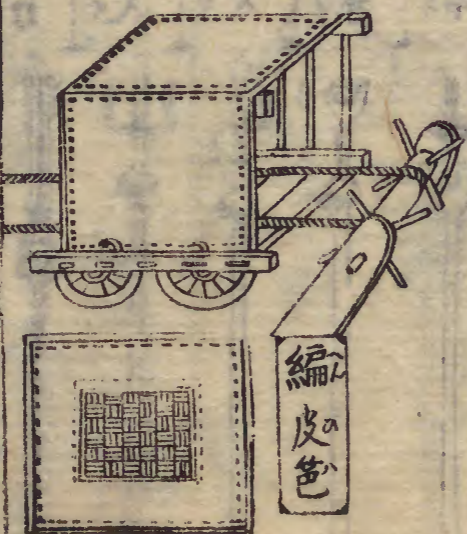
子馬ひび



ろく用と橋の橋 橋の橋



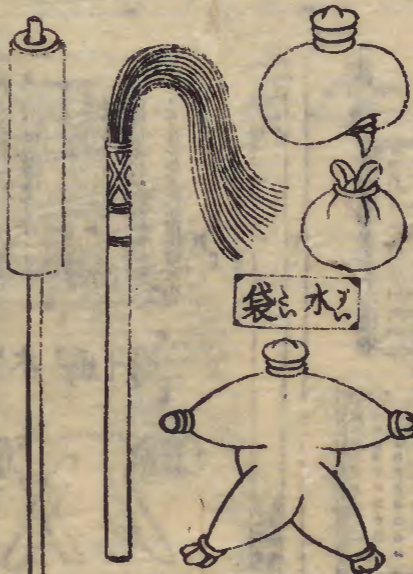
棚織蓆掛



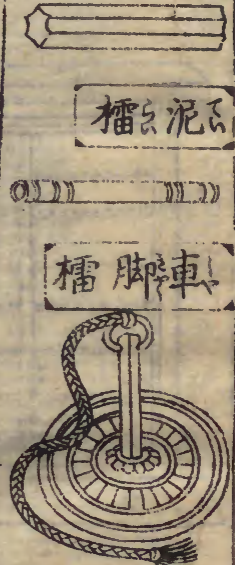
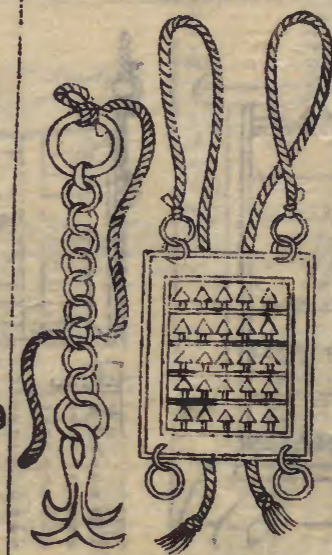
編皮の色

筒 唎 搭 麻 囊 水 鉤 飛 拍 才 狼 播 塲

みの三品火とえり具なり



袋の水

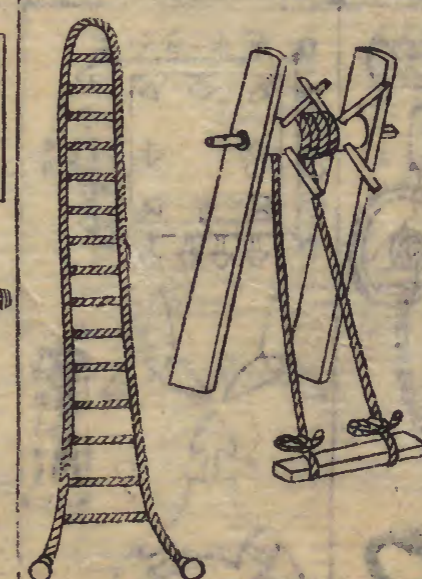
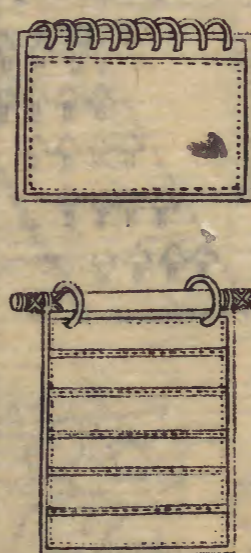


播の泥

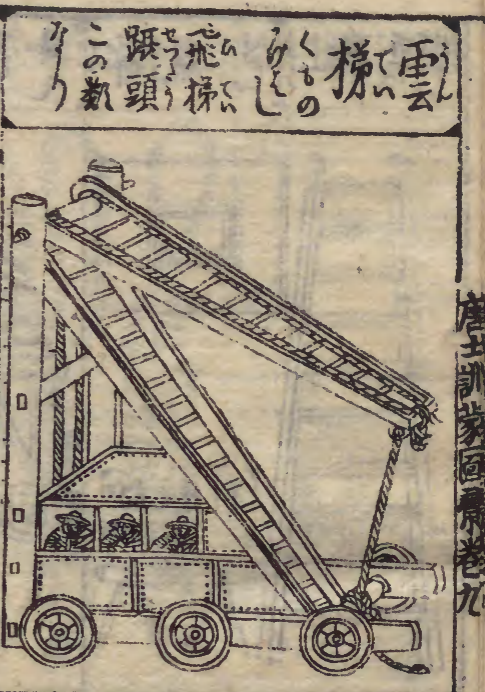
播脚車

簾の種 簾の皮 梯の繩 車絞 城の下

土色小して洞穴と蔽ひ兵とかくし敵の地ろと攻うとて出てよせくものなり



木の撞鐵



雲梯  
飛梯  
頭  
この数



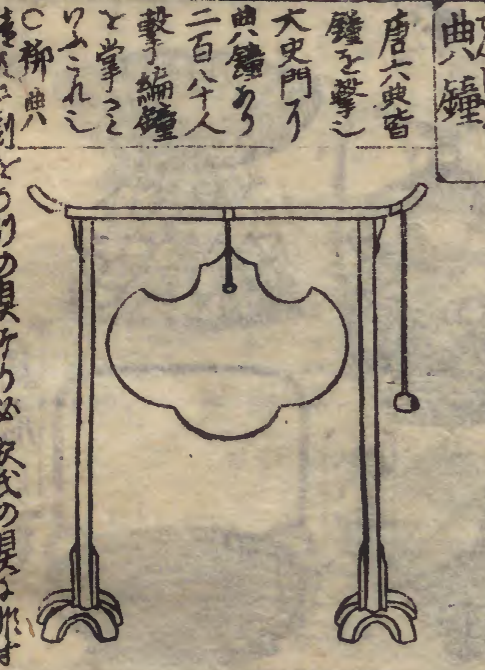
龍吐  
鑑  
請人拔  
留客住  
鉄骨朵  
鉤鎌



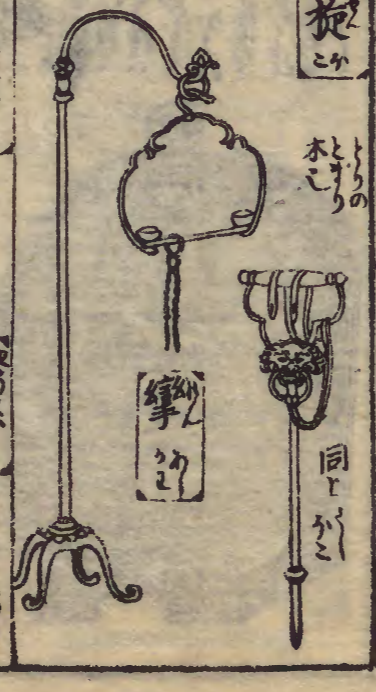
梅叱  
星鏡  
内月牙  
外月牙  
綱鞭  
二節刀  
文叉  
武叉  
銅拳  
托結



柳  
柳ハ昂ラ  
折易日  
重門撃折  
以待暴客  
といふ也  
杖ゆ木  
と撃て更  
壽と云  
者も同



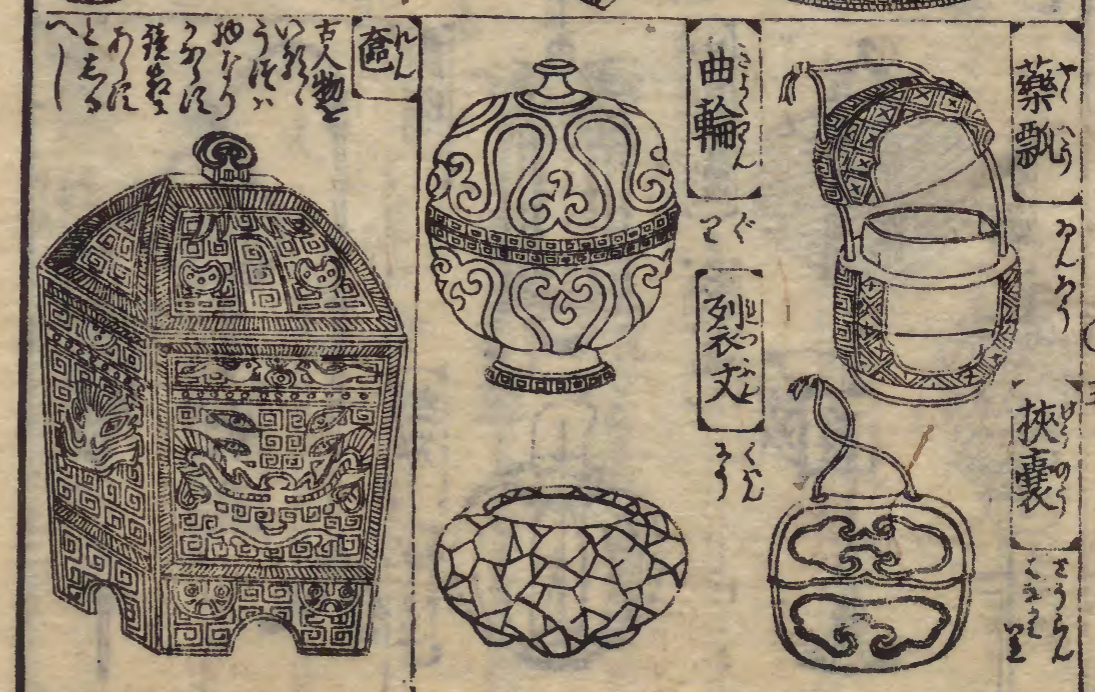
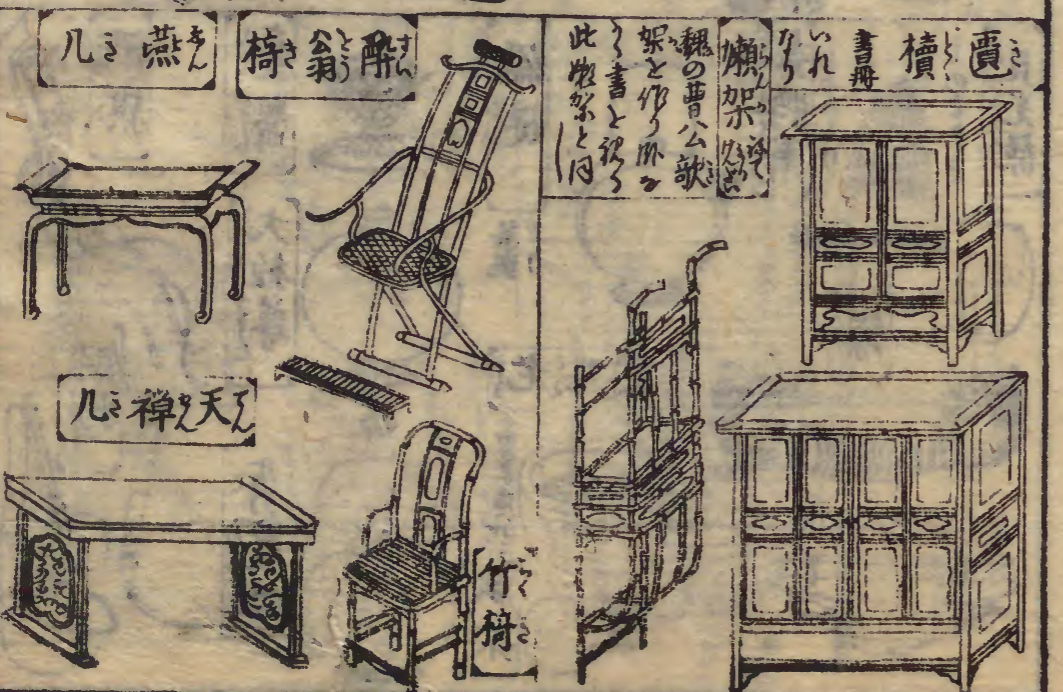
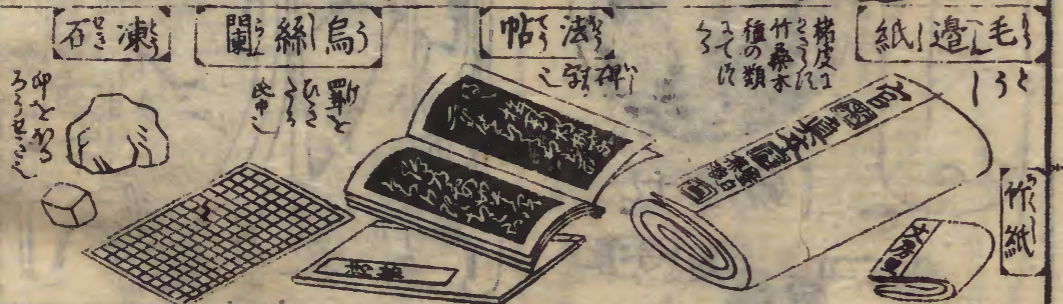
典鐘  
唐六典音  
鐘を撃  
大史門ノ  
典鐘あり  
二百廿人  
撃手編鐘  
と掌こ  
のこれ  
○柳典  
持たし刻  
とつりの具  
ケり必衣  
氏の具  
ナリ



松心  
同  
松心  
松心



葛灯籠  
馬灯籠  
松心  
松心





桑梯そうてい



桑蟲織類そうちゅうおひ



桑網そうあみ

斫斧さくほ 桑鉤そうこう 桑籠そうろう 切刀きりば 剗刀かたば



帳床ととこ



倒籠氣たうろうき

佛昂瓷ぶつおんじ



鏡里千きやうりせん

酒旗さけのぼり



臺盤たいばん



大極尊たいごくそん



葫蘆樽ころもすけ

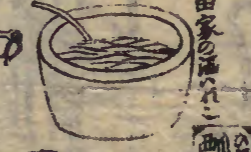


偏提へんてい



茶櫃ちやび

盆瓦老ぼんわらう



標將軍ひょうしやうじん



鏢ひょう



上同じやうどう









木綿彈子

古制ハ竹と以テ強ク近代の制ハ各別ニ長ニ五六尺強ク羊腸ニツケテ推入スル所ノ多ク電氣ノ力ニ今云々切

木綿經牀



其ノ糸ト

木綿捲筵

綿花を無テ後筒ニテ紡テ糸ト今ハ糸ノ大き又ぞん

木綿線架



具ト云々

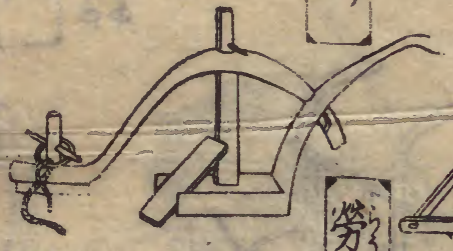
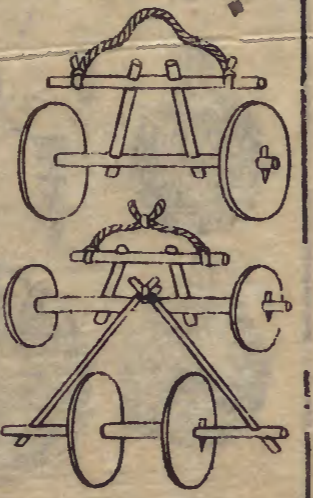
九

田家農具

碓車

礮毒

剗刀



勞

木礮



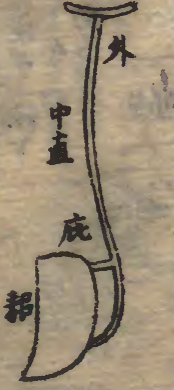
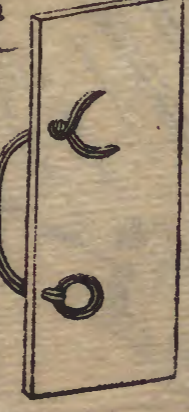
刮板

平板

輓軸

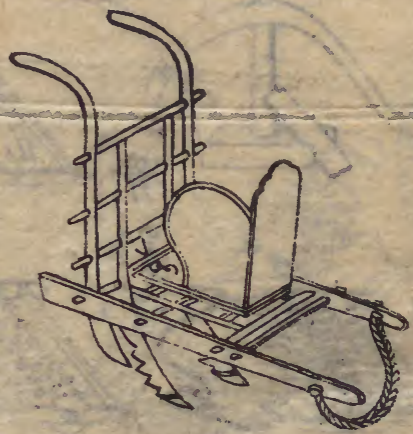
長鏡

耒耜

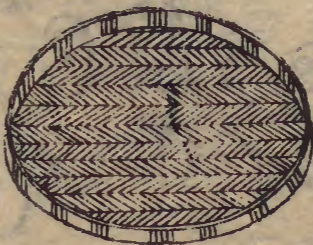


篋車

具



曬架



瓠種



種篋



薺馬

具



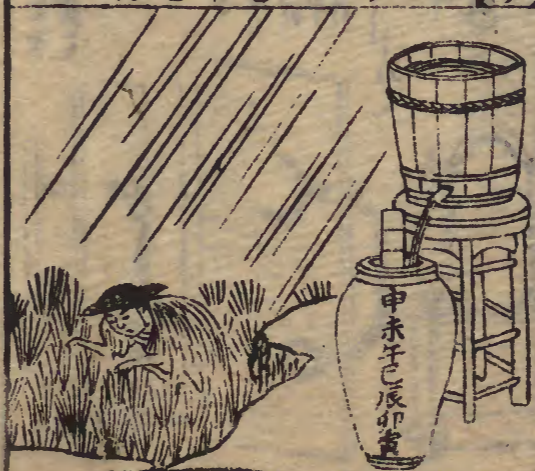
秧馬

具



田漏

農家ニ用  
テ内刻トシ  
テ器  
其制壺内  
刻ヒ壺  
上盛水  
野テ多  
与ハ刻  
ワツコシ



喬杆

播末



夾笥

稻夾タ  
トウラ  
架



攪糶篋

具



竹節穀笥

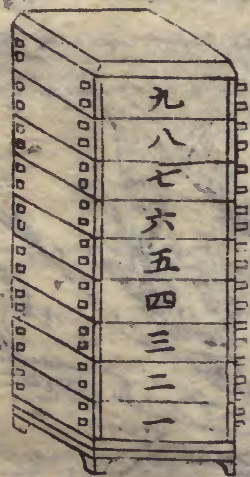


圓穀

積つみ草くさ

夾くわ夕ゆふ

縛くわ夕ゆふ



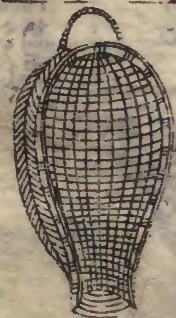
籃らん賜み

簍ろう

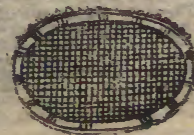
籃らん

簍ろう

篋けつ



鹿か木き藪くさ



籊し



籊し



籊し

鋤

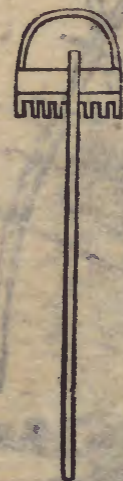
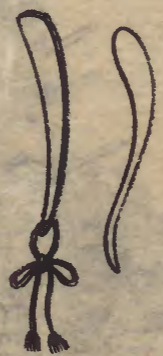
掘くわ刀は

麥むぎ鉞せん

耘くわん把ば

小こ把ば

穀こく把ば



上かみ同どう

抄しやう竿さん

倒たふ具ぐ

倒たふ把ば

秧やう彈だん

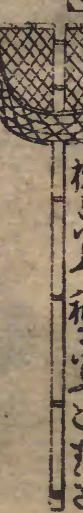
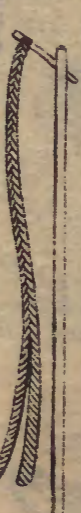
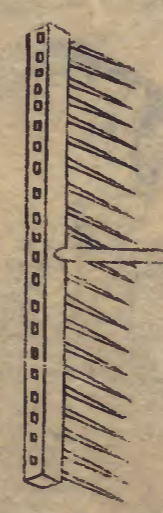
穀こく盞さん

呼こゑ鞭むち

搭たつ爪づめ

未ま鉤かぎ

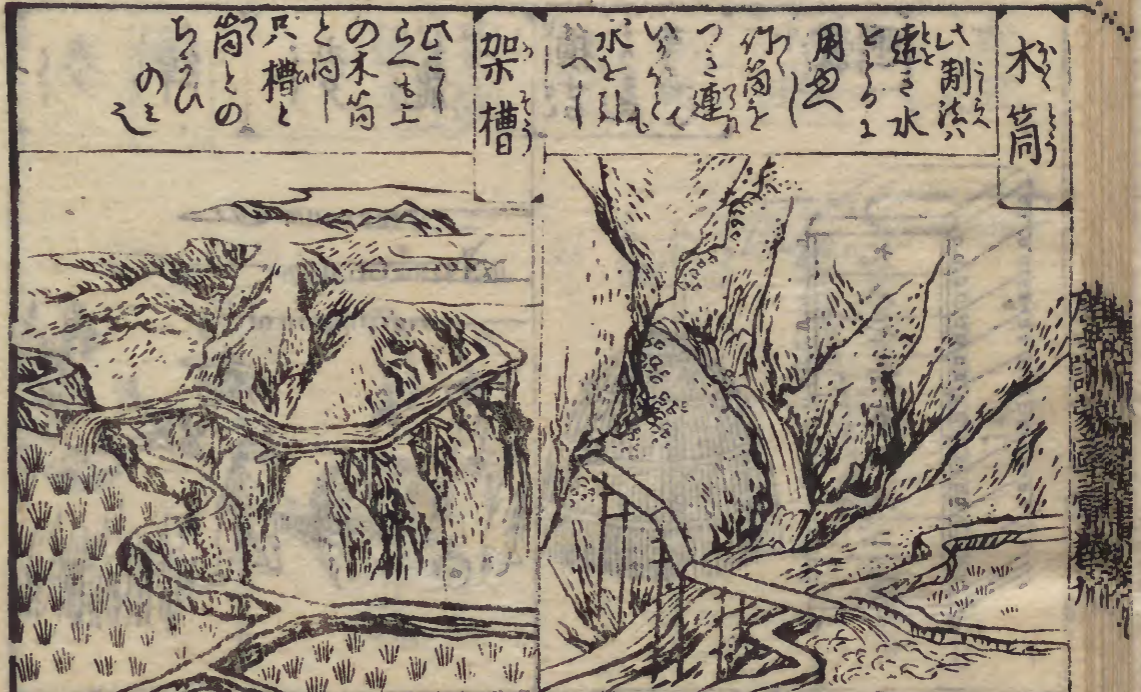
竹たけ楊やう杓しやく



木きと木き杓しやくと液えき

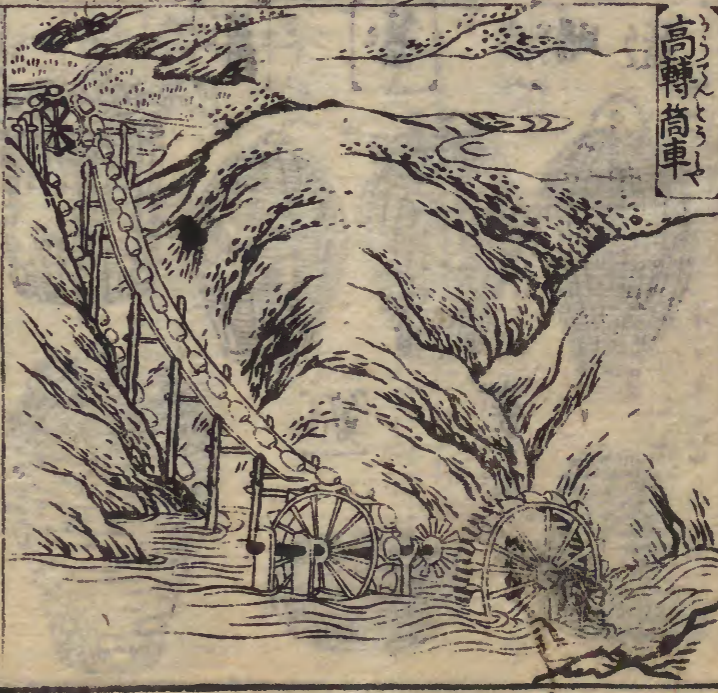
水筒

此制は  
水筒  
用  
竹筒  
つぎ  
水と  
架槽



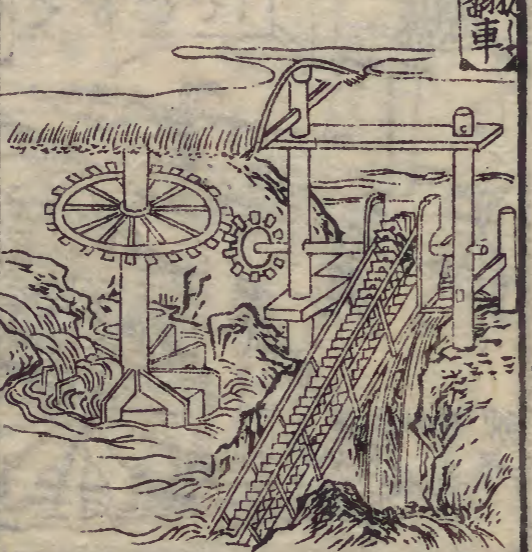
高筒車

此制は  
高筒車  
水筒  
用  
竹筒  
つぎ  
水と  
架槽  
各輪と堅つ下の輪半、水の内より輪の  
後、八輪の月のおぼろに、一々の内と  
槽のくくしと、筒索と、うきうき、索筒の方  
へ、大輪のふき、うき、うき、うき、うき、うき、  
水と、おぼろ、し、入、め、り、て、轉、す、時、は、止、  
水と、おぼろ、し、入、め、り、て、轉、す、時、は、止、



水筒翻車

此制は  
水筒  
用  
竹筒  
つぎ  
水と  
架槽



筒輪

此制は  
筒輪  
水筒  
用  
竹筒  
つぎ  
水と  
架槽



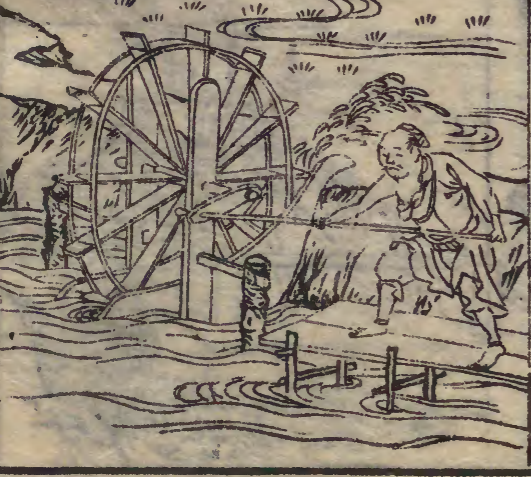
牛車水車

此制は  
牛車  
水車  
用  
竹筒  
つぎ  
水と  
架槽



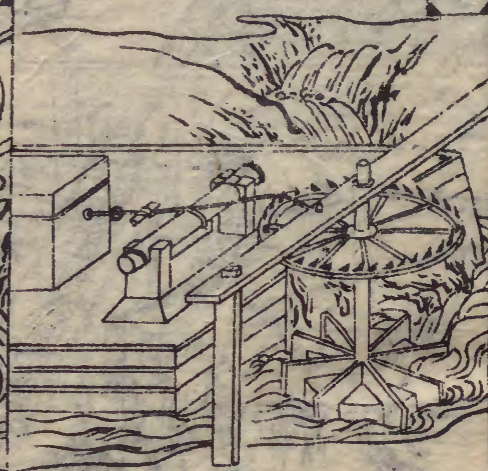
刮車

此制は  
刮車  
水筒  
用  
竹筒  
つぎ  
水と  
架槽



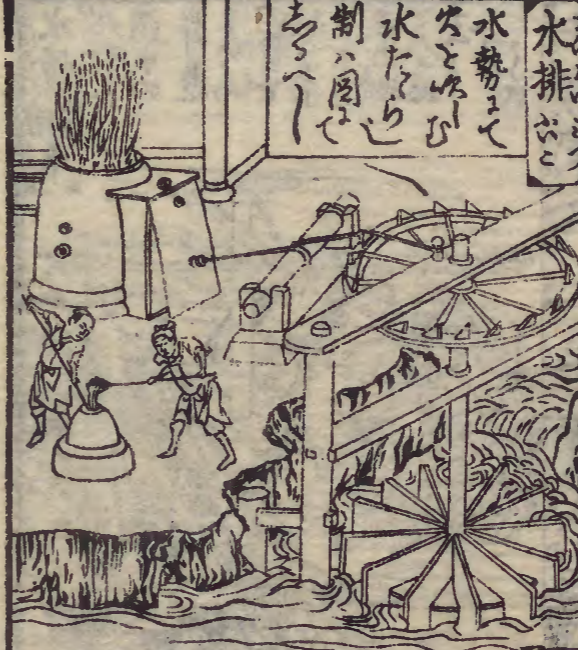
水打蘿

此具水石  
磨之用  
麵之餅  
人力の反  
抄巧下の  
水排と  
同



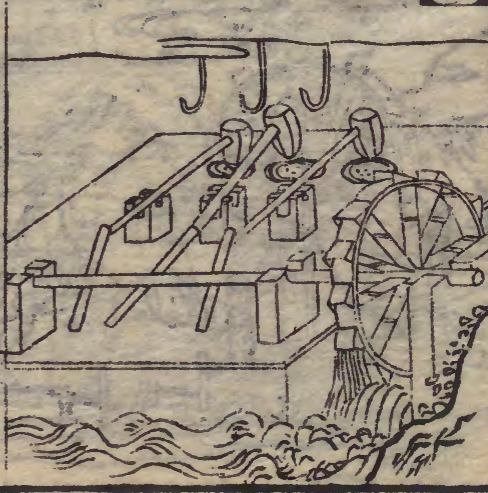
水排

水勢を以  
て水と  
水たらし  
制の固  
まへし

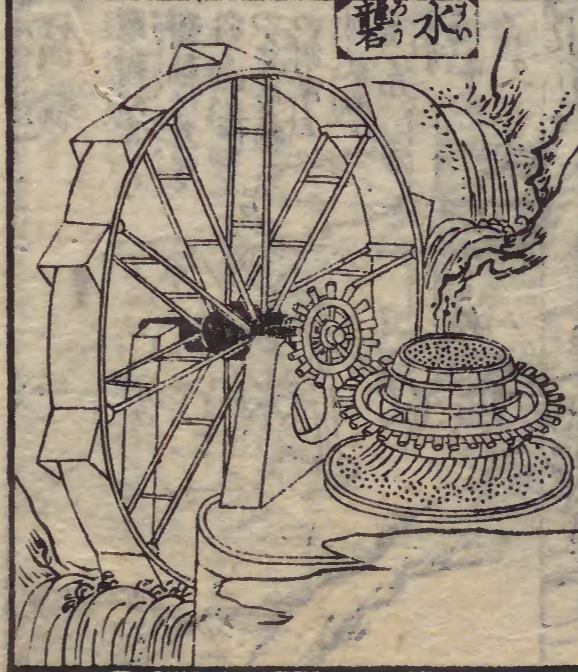


水碓

連機碓と  
水勢  
の石崇  
家水碓  
十画り  
りあり



水碓



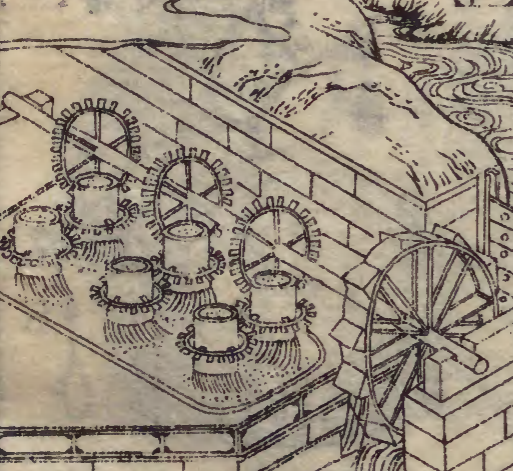
水磨

此磨と並  
激し水と  
まて水の  
まて轉す



水轉連磨

此制陸轉  
連磨と同  
急流水  
上用の  
輪軸を  
合抱し  
つら  
輪の  
果の



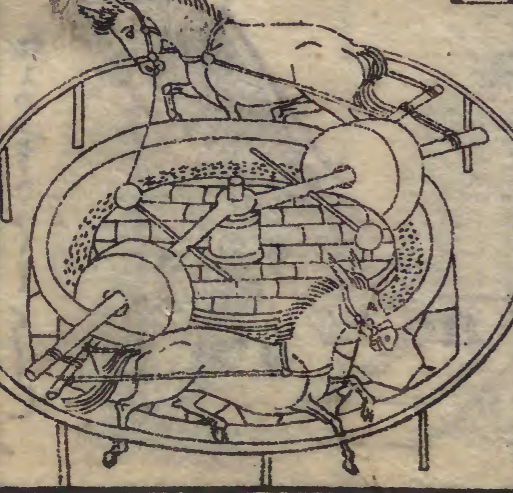
龍石圖

碓設と  
去器  
竹を編  
馬を轉  
力との  
まね



石轉

つら  
輪軸を  
まて石  
おの  
おの  
おの  
おの



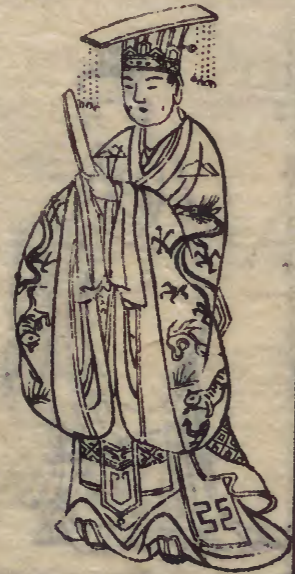
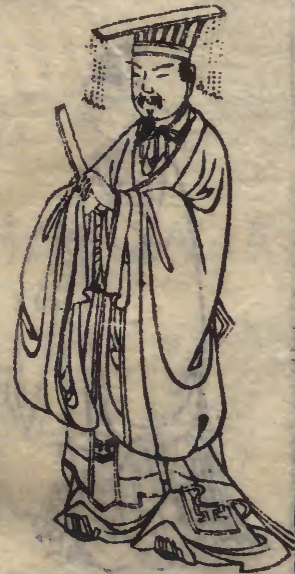




冕之玄夫大

冕之衮公上

服之燕



弁之皮士

冕之希孤

冕之毳男子



弁之爵

弁之章

冕之希



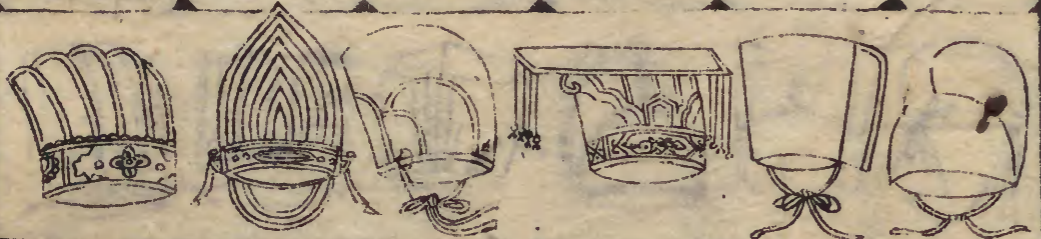
冕之鷩伯侯

端之玄

弁之皮



冠之緇 弁之綦 冕之麻 冕之周 甫之韞 遊母



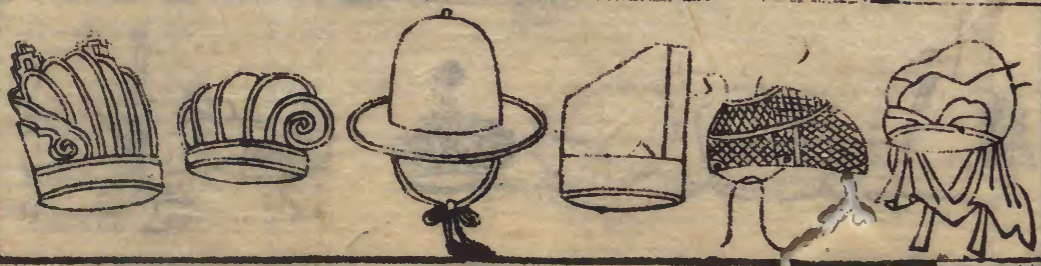
冠之雀 弁之皮 撮之緇 冠之賈介 貌之委 冕之漢



衣之面 帽之唯 帽之萬 冠之積玉 冠之皮 笠之臺



冠之靖忠 帽之葛 帽之大 巾之儒 巾之網 巾之幅



服之客王白衣展 祭先色衣禱 服之季色狄揄



服之主黑衣祿

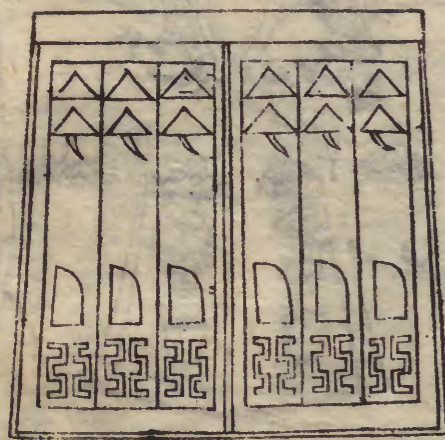
服之右桑色衣鞠

服之祀小赤狄闕



裳引下袴

衣のきり上げの服



章 二十 書 虞



宗 委



山



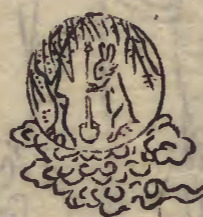
日



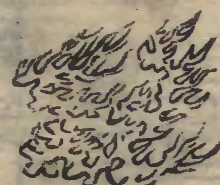
宗 藻



龍



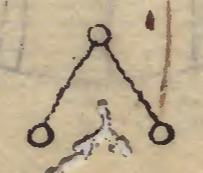
月



火



華 虫



辰

巾 周 四 巾 之 裳 帽 紘 帽 茨 東 巾 之 雲 巾 之 五 治



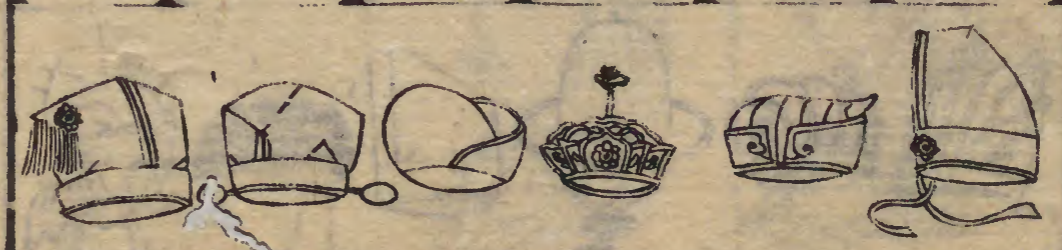
笠 鬘 髻 笠 翅 鳳 巾 之 結 巾 之 將 巾 之 人 老 巾 之 陽 緋



帽 之 韃 笠 之 檀 帽 之 山 三 冠 之 髮 束 帽 之 標 纏 巾 之 貂 金



巾 之 隸 巾 之 吏 帽 之 塔 英 帽 之 僧 冠 之 道 巾 之 雷



悦えつ  
のお

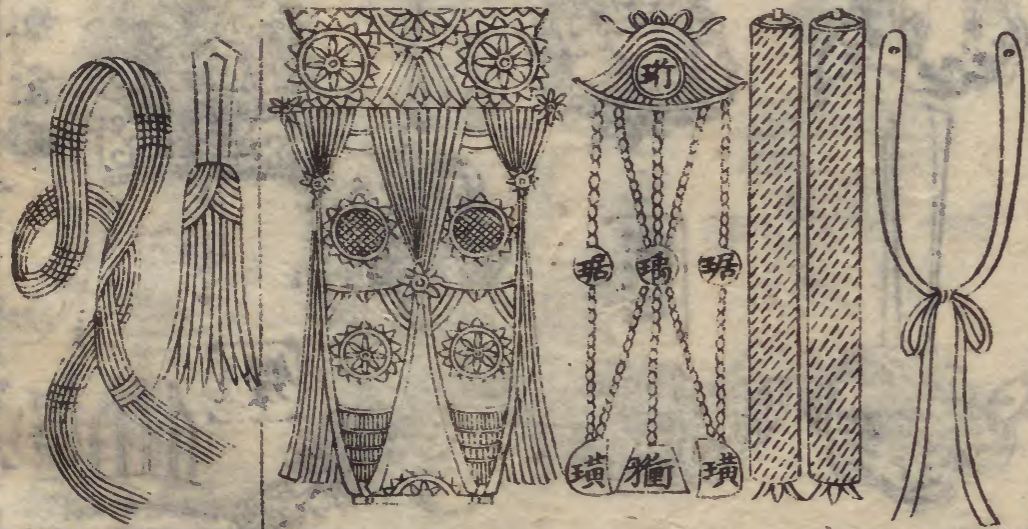
綱なう  
いと

綬しゆ

雜佩ざうはい

璜かう

冠かん  
綉しゆ



扉ひら

大帶たいたい

方かた  
曲まが  
領りやう

竹たけ  
度ど

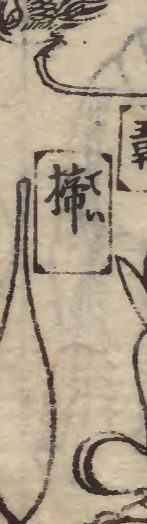
鷲しゆ  
尾び



木き  
屐き

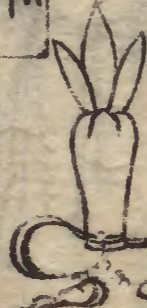


櫛し



櫛し

櫛し



圖ず裳しやう繡しゆ罽き九く

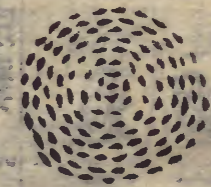
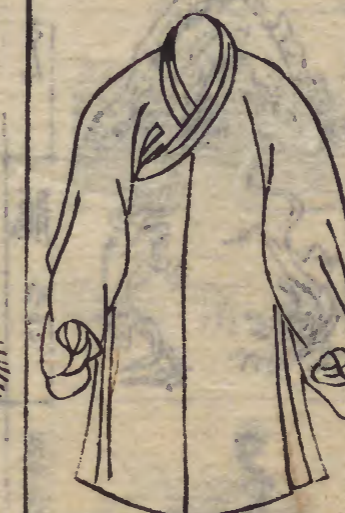
衣いのの天子てんし圖ず衣い衾きん罽き九く



もものの衣い裘しゆ羔かう

もものの衣い裘しゆ狐こ

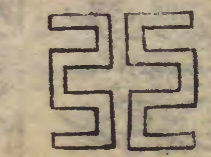
圖ず服ふく



粉こな米めい紋もん



繡しゆ不ふ



散さんつつ

人<sup>之</sup>頭<sup>之</sup>鑿<sup>之</sup>冠<sup>之</sup>頭<sup>之</sup>項<sup>之</sup>身<sup>之</sup>甲<sup>之</sup>式<sup>之</sup>甲<sup>之</sup>盛<sup>之</sup>兵<sup>之</sup>甲<sup>之</sup>



人<sup>之</sup>甲<sup>之</sup>

脰<sup>之</sup>撤

馬<sup>之</sup>身<sup>之</sup>甲

雞<sup>之</sup>項

馬<sup>之</sup>面<sup>之</sup>簾

馬<sup>之</sup>甲



塔<sup>之</sup>後

雞<sup>之</sup>鬚

半<sup>之</sup>面<sup>之</sup>簾

兩<sup>之</sup>博<sup>之</sup>髻

面<sup>之</sup>花

釵

冠

內<sup>之</sup>命<sup>之</sup>婦<sup>之</sup>冠<sup>之</sup>服



滿<sup>之</sup>冠

釵

髻

道<sup>之</sup>衣

僧<sup>之</sup>衣

霞<sup>之</sup>披

釧



指<sup>之</sup>環

虎豹

天子の九章  
門虎豹と  
しつちりい  
とを威容の  
をといふこ  
これと帝  
乃后と  
の代り  
秘訓の制  
大に於今  
あつたに  
虎豹と日  
移月華  
門のかう  
つぬ明細  
も同  
虎豹と各  
圓楯と用  
これとへ  
奉天門か  
うつた



馴象

晋の武  
帝の心  
を然る  
うらみ  
宋え明  
の代り  
これと  
胡令と  
は奉天  
門のか  
ゆつひ  
依馬  
天子の  
此と  
ゆつひ  
依馬  
兵衛

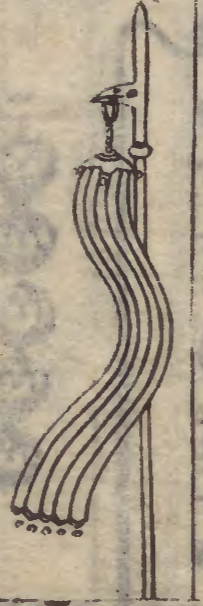
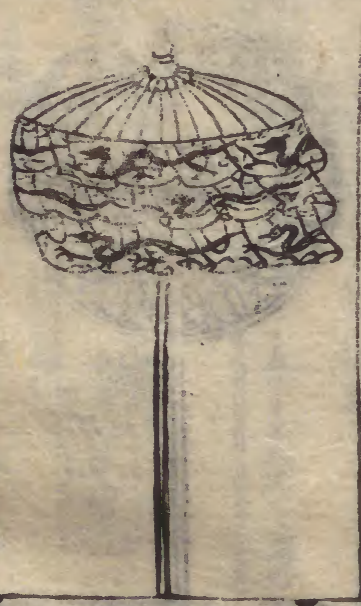


蓋黄

警儀

警載

警



扇雉

蓋華

繖大





傳教旗

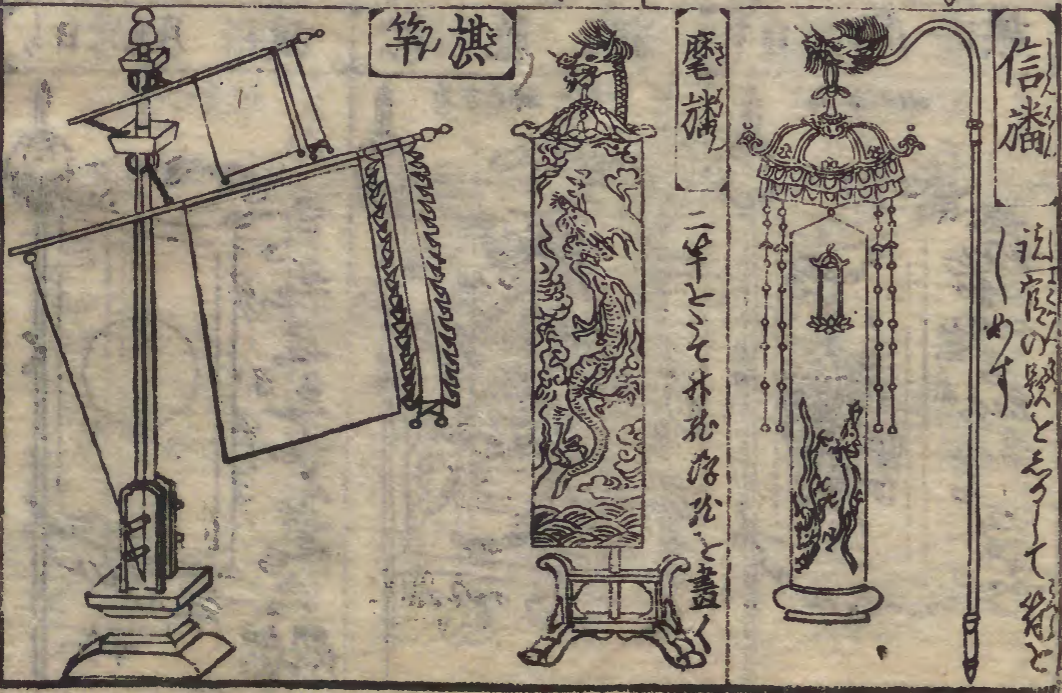
御行速に令すに此と用の

告止旗

御行止に此旗と云ふ

龍頭竿豹尾

大豹尾



竿旗

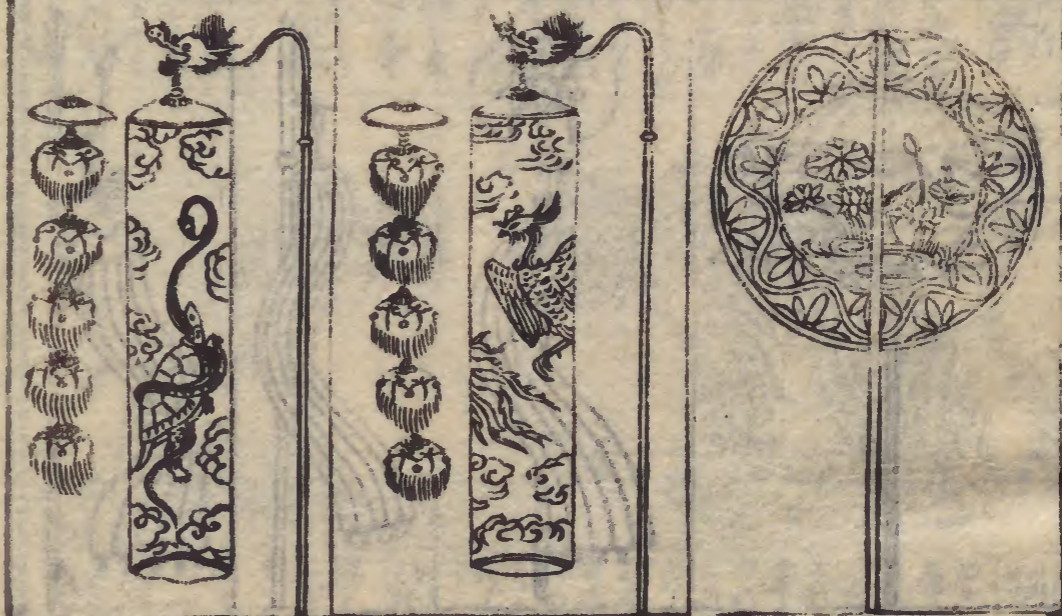
麾旗

二竿とて外花の如く畫く

信旗

此旗の旗と云ふて此と

懂武劫 懂番朱 扇繪



扇明五 懂虎候 懂龍靜



旗 雲



旗 武 玄

北方の神  
昂 龍  
地 龍



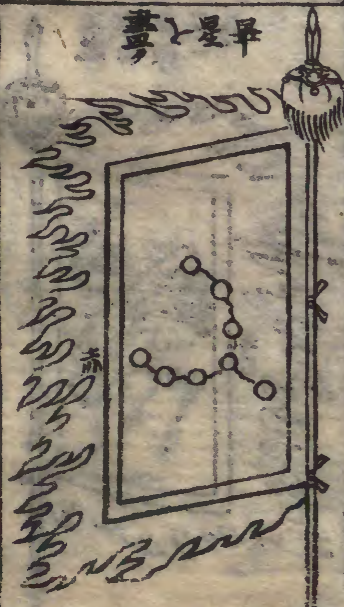
旗 雀 朱

南方の神  
昂 鳳  
地 鳳



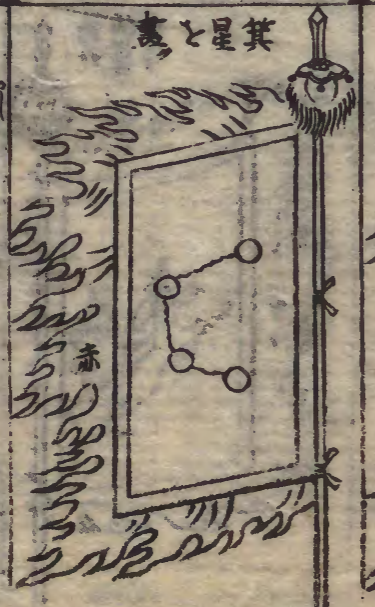
旗 雨

星 早



旗 風

星 箕



旗 雷

文 雷



旗 門



旗 斗 北



旗 龍



十二竿  
金 龍  
竿 繪  
朱 二  
漆 三  
松 二  
縹 八  
青 一

旗 虎 白

西の方神



旗 龍 青

東の方神



旗 月 日

各竿  
相 月  
赤 日





旗 鸞



旗 羆



旗 熊



頭 魁

相 方

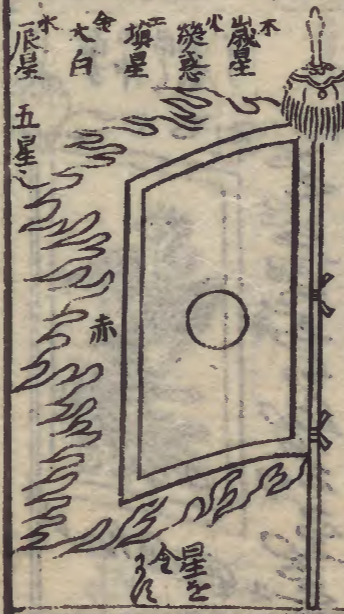


方相 魁頭 方相者防喪也自黃帝始俗號啟道神周禮有方相氏大喪先置及墓入廣以戈擊四隅方良故季家以方相先馳宋朝喪葬今有方相魁頭之別此皆是其品所當用而世以四目為方相之此也

旗 麟



旗 星 五



旗 嶽 五



旗 瀆 四



旗 澤 白



旗 馬 天



旗 祿 天



珍寶

波斯國之山

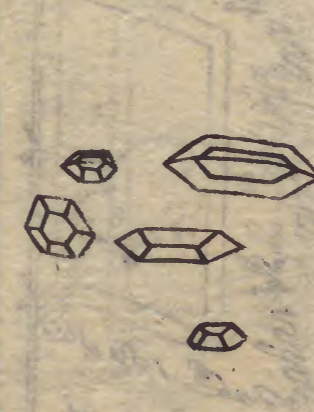
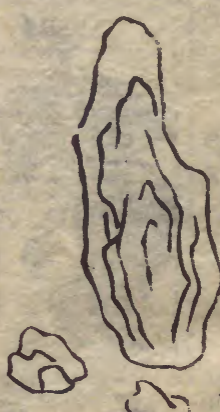
形番龍山  
二種あり  
一は泥岩なり  
乃蔵たり

善菩薩石

鐵屑山  
三寸六面形  
光あり  
青玉の英あり  
又一種紫色  
とあるは

白石英

大さの形  
三寸六面形  
光あり  
青玉の英あり  
又一種紫色  
とあるは



石膏

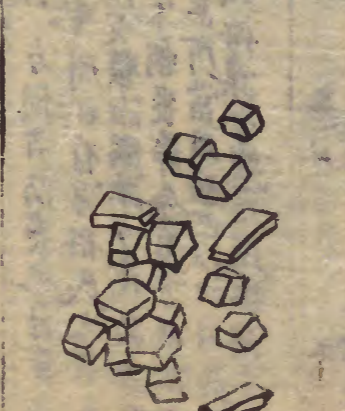
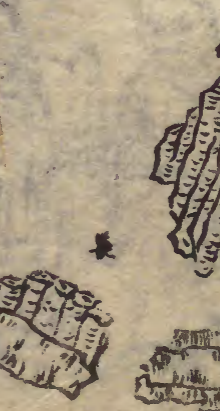
軟硬の二種  
理石は青  
の一種極の  
よく物に  
よのし  
長石の一種

方解石

長石の一種  
よく物に  
よのし  
長石の一種

不灰木

色白く  
形細木の如し  
又一種膠質  
草の一種  
よく物に  
よのし



無名異

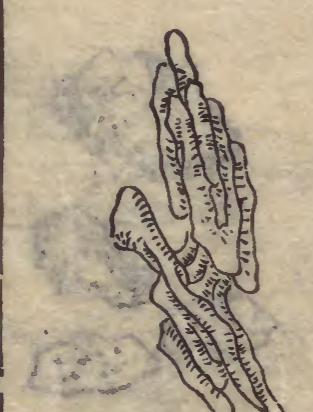
石とよ  
状五石炭  
の一種  
油と以練  
○分邦より  
とあるは

井泉石

鏡湯部又  
深見城  
出川田  
地と大層  
二九と  
方と短回

密栗子

無名異の  
鐵地  
利あり  
全  
ゆれと  
とあるは



右鐘乳

石の津液  
わきり  
とあり  
○分邦より  
とあるは

土股

石の津液  
わきり  
とあり  
○分邦より  
とあるは

馬條糧

形半黄  
細まわり  
浦美の  
沈み  
よのし



空王月

首をくわ  
かき入るの  
掛るよりの  
重き  
おたけまじり  
りへん紅地  
まじり  
書意用口



毒石

毒石、殺品  
わん、白薬石  
茶、要、紫、紫、紫  
紅、櫻、桃、花  
金、精、銀、精  
特、生、器、俱、  
これ一物あり  
他、形、を、以、  
ま、と、り、



金牙石

蜀、澤、の、つ、  
この、金、色  
う、て、大、基  
石、の、と、く、方  
あり



波多沙石

海南、上、は、  
五色、海、  
石、を、編、  
て、  
何、れ、の、  
形、を、  
光、澤、の、  
如、し



青磁石

ま、白、に、  
ま、ま、と、  
ま、ま、に、  
ま、ま、に、  
ま、ま、に、



白羊石

此、と、  
白、羊、  
金、剛、石  
此、著、天、世、  
出、つ、  
金、剛、石



薑石

土、石、の、間、  
生、れ、状、姜  
の、  
夾、  
あ、は、の、  
あ、は、の、  
あ、は、の、



水中白石

水、の、  
水、の、  
水、の、  
水、の、  
水、の、



石蟹

石、蟹、  
石、蟹、  
石、蟹、  
石、蟹、  
石、蟹、



石蛇

石、蛇、  
石、蛇、  
石、蛇、  
石、蛇、  
石、蛇、



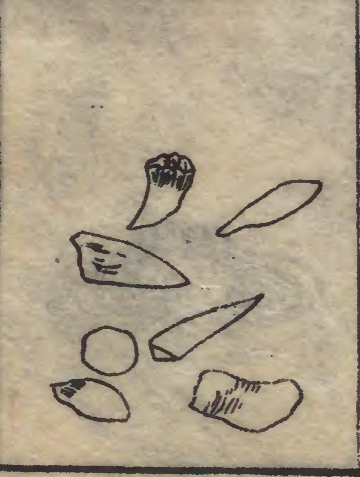
蛇黄

廣、南、  
蛇、黄、  
蛇、黄、  
蛇、黄、  
蛇、黄、



雷震石

雷、震、  
雷、震、  
雷、震、  
雷、震、  
雷、震、







黄精 三月

苗生の高二三人  
葉竹の如くしてひ  
ろくあとおおす  
ゆがし白むを  
ひくみ森のゆく  
根生善の



黄芩 叢  
生高二尺より又  
独莖をうもわり  
葉細長くあわ  
對に六月はむ  
と開く根知母乃



黄精 三月

白く裏まじり葉  
竹の如く葉の同  
花とひらく例參  
のつく實と結  
りてこの類し



天麻 苗の  
初て出づ草葉の  
独莖と抽  
て直より高  
二三尺前葉の  
と故に根を  
とてつハ茎ま  
とてつハ茎ま

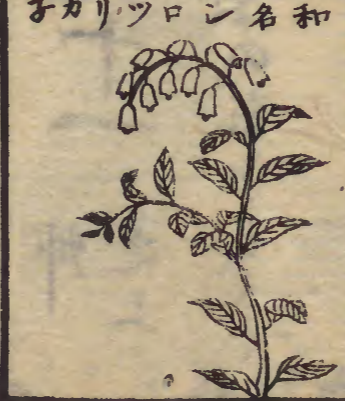


柴胡 苗生

して甚香一莖  
多し葉より葉  
竹より伸り又蒿に  
似たり葉冬冬イ  
似て短ものなり



黄芩 叢  
生高二尺より又  
独莖をうもわり  
葉細長くあわ  
對に六月はむ  
と開く根知母乃



黄芩 葉

根葉一似てか  
葉はまじりひら  
小葉とび下又葉  
蒸す似たりわり根  
の長と二三尺



沙参 苗生  
一七二尺葉  
崖壁の間に  
あり葉枸杞に  
似て又牙わさ  
七月はふと開

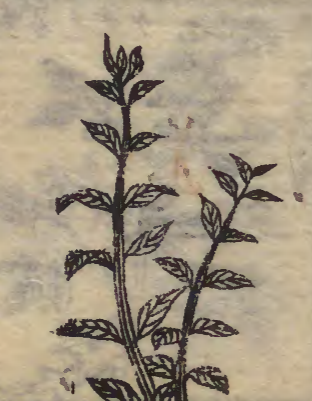


人參 春苗

と生して三四月  
花は細小  
紫白色の味  
根人の形と神



丹参 苗生  
一七高尺ころ  
莖幹方稜す  
厚荷のこく  
て毛わり三  
月花といらく  
石は紫色かり



玄参 春

苗と生れ莖紫  
色より七月  
花と開く葉  
色し八月実と  
結み紫色し



紫参 苗長  
一七二尺莖ま  
く細葉槐に似  
又羊蹄に似  
もわり五月む  
開て白く又五葉  
の者わり



教参 葉

羊蹄に似て根ハ  
海鯨に似て区

杏参 根ハ

小葉根に似たり

其草 苗生

一七三二尺葉  
櫻の如く七月葉

花と用く奈に  
似たり子と後て

知母 四月

多むと用く

蕪花の如くハ

月実と似たり

根黄色 莖赤  
二似て柔順し



貝母 葉ハ

蓄麦に似て七月

花と用く葉ハ白

色根貝子を

わらひらう如く故

二名て救行

其前胡 葉苗

と生一青白色

蒿に似たり如く

白芽長三四寸

其香美し一程

柴胡と當歸  
似たりわり



升麻 苗生

一七三二尺葉

葉麻に似て三二

月と似たり如く

白と葉わり大  
小二程あり小ハ  
園中へ入て下



徐長卿 苗の

さる二三尺葉柳

に似て細く尖り小

花といひて尖

角兒とひて根

細辛に似る香

氣も同し

臨羊藿 葉ハ

杏に似て上り利

わりて栗稗乃

根は赤き

四月むむといら

く又此ふさそり

もわり

貫衆 苗生

一七赤く葉大

蕨の如く茎幹

三稜葉綠色小

鶏の翅に似たり



仙茅 葉

一七三二尺葉

軟に復積瀾

一面に縦理る

三月花用て施

しの如く実と

似たり

白頭翁 苗生

狀白微のこく

長して莖浮く白

毛わら根のを

取に白茸わら

白沢の老翁に似

たり

白前 苗ハ

細辛に似て大

色白く易し

亦葉の柳に似

たりも葉を



和名 ナハメ



白及 苗長  
 一尺許根  
 葉に似ず葉の  
 端に一室と生し  
 多むといらふ  
 今七月実と  
 併し白むと



平地木 高尺  
 子甚多  
 散生 出處に  
 多して生け  
 鋸葉あり七月  
 花といらふ



白鮮 苗生  
 七高入餘わら  
 四月花と開て  
 淡黄色小罇葉  
 似ら根ハ蔓  
 青ニ似る皮の色  
 黄白ハ



茅藤果 葉ハ  
 竹ノ子と枝  
 葉下に生れ  
 赤と丹砂乃  
 霜雪ニ  
 耐ふ可に用く



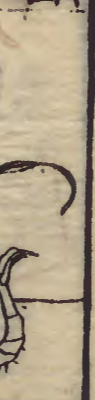
白薇 葉柳  
 葉ニ類して七月  
 紅花と開く八月  
 実と強根  
 黄色牛膝ノ  
 類と短



金莖花 一名  
 高良姜 紫白金  
 葉の三色あり  
 諺曰不帶金莖  
 花不得入仙家  
 とあるなり



胡黃連 胡國  
 生れ今處に  
 わり初生葉ハ  
 似ら乾てハ揚  
 柳の枯枝ニ似る  
 心黒く外黄し



秋牡丹 一名  
 秋牡丹 一名  
 秋牡丹 一名  
 秋牡丹 一名



黄連 苗ハ  
 葉ニ似て叢生れ  
 莖三葉と生れ  
 冬も凋たむ葉  
 色ニ所ニ似る  
 花葉の容ニ似



素五口 一名  
 素五口 一名  
 素五口 一名  
 素五口 一名



紫五口 一名  
 紫五口 一名  
 紫五口 一名  
 紫五口 一名



秋牡丹 一名  
 秋牡丹 一名  
 秋牡丹 一名  
 秋牡丹 一名



紫五口 一名  
 紫五口 一名  
 紫五口 一名  
 紫五口 一名



秋牡丹 一名  
 秋牡丹 一名  
 秋牡丹 一名  
 秋牡丹 一名





萬年草 葉

意欲は似て短く厚く冬も枯らぬと朱葉ありまをわし

金星草 葉青

多く背陰の石上に生れ葉長二尺父至て背の上は金星點子と生れ一兩におろし銀色の

骨碎補 根大

木に生し或は石上多くハ背陰の處にありこれハ名ハ孫養と云折傷と主といはるありし

トモラ名和



景天 葉

馬齒莧とて冬も枯らぬとついで昔より懐火薬と一物に似たりか

紫背金盞 苗の

高さ一尺より葉の背紫し花は根をよにゆき

地錦草 苗葉

細弱して蔓となりて地を遍一葉赤く葉青し中夏茂盛に

クワイケン名和



石莖 葉

青く高さ一尺より葉水柳の如く短く多し河岸湖石の上に生れ

崖櫻 苗の

高一尺に葉四季多かり其根と用ひ

石長生 葉

藤に似又樹に似り多し山陰石岩の下に生れ世に石長生としこゝろありし



當歸 春

苗と生し葉緑して三瓣あり七八月にとのりきり

肉豆蔻 胡國

より出つ令嶺南人薬にせしむる花實豆蔻と似て圓く小く皮紫し内の肉辛

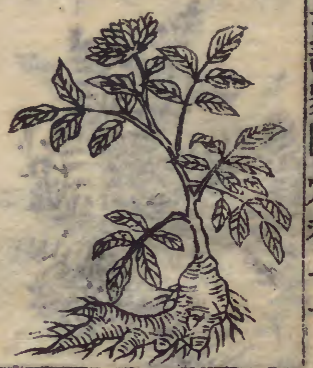
白豆蔻 苗

芭蕉に似し杜若に似て長八九尺とて光滑冬夏潤すれむ



白芷

相類 紫色色  
潤さ三指より  
花白く微黄し  
伏し入て実と  
結いさ秋の  
蓬莖 昂



生高三四尺 葉  
圓く潤い三寸葉  
の如く三月白む  
と開く七月子と  
結ぶ根子と  
鬱金 四月



蓬莖

莖木 高三三尺  
葉青白色長一  
二尺葉荷と類  
五月花あり  
穂とあり根は生  
善のこくあり



補骨脂 昂破  
破紙から莖乃  
高き三四尺葉  
薄荷と微  
紫色色實ハ麻  
子あり圓扁



京三稜

生ハ高三四尺  
葉薄葉に似  
三稜あり五  
六月花と開く  
草に似たり



補骨脂 昂破  
破紙から莖乃  
高き三四尺葉  
薄荷と微  
紫色色實ハ麻  
子あり圓扁



雲令陵香

麻の如くあり水  
對に氣ハ麻  
蕪の如く七月  
花と開て至く  
やむ



木香 葉ハ  
羊蹄に似て長  
大に花ハ菊の如  
く又葉山の芽  
乃とく紫花と  
開く者あり根の  
形枯骨に似し



獨頭蘭

蘭に似て小く長  
白むといら亦  
蘭の  
赤脚長鬚の  
鬚とありハ一  
ん

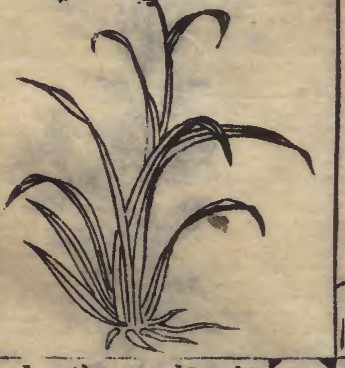


杜若 江湖  
生ハ葉ハ毒  
に似て花赤色根  
を強て小く  
ありハ一  
ん



茅香

三月  
苗と生して大麥  
に似たり五月白  
花と開く又草  
花にあり又ハ  
わのしとあり



沙草 而  
香附子に似て  
皮これあり葉  
三稜に似て根ハ  
附子の如く  
毛多し



薄荷

葉は似て光長  
冬と春に根死  
すくくま生に  
夏秋茎をふと  
り暴乾用



益智 葉ハ  
葉荷に似て高  
丈餘其根の旁  
1小枝と生に其  
花薄ハ粒と茂  
子ハ葉のト



蕙

葉ハ  
葉に似て小く薄  
一六月に生る  
豆と藿と似ハ  
形似ら故に  
和ニアルハ藿ニ用テ  
ヨロシカラス



高良薑 葉ハ  
三四人三月を  
と用て根下に  
わり五六月実  
とらん



高良薑

春苗  
と生に葉葉葉  
苗の如く大なり  
高一二尺くら  
花は紫色を山  
姜のト



甘松香

葉ハ  
生に葉細くして  
葉草に似り根  
極て繁ふ家から  
八月採て湯浴  
下れと務香



香薷

似て葉更  
子細く十月に  
とらんハ香薷  
と作る



薜薑

木に  
縁て生に其子  
葉のト 熟す  
と長三三寸密  
と藏く食は辛  
く香



茉莉

花ハ  
春末より開てふ  
香ありお白千  
葉のトのわり植  
て勲障ト



天門冬

蔓  
生して一丈  
餘のトの葉  
清香のトと逆  
刺わり刺をた  
わりま花はこ



藜

葉ハ  
白芷に似て香ハ  
甚し藜に似て細  
五月白毛を開く  
七八月子と結ふ  
根は紫色なり



菴絲子

夏  
苗と生に絲の  
トト草木乃  
トハひく六七  
月子と結ふ



葎草 葉ハ

葎麻のこまに  
して、細柳  
わらわら黄白  
子も麻子に類  
一猪殃殃

白薬 苗ハ

苦苣は四月  
うへ赤莖長  
蒴蓋に似たり  
六月白むと開  
八月子とひし

紫葍 春生

夏枯の赤蒴蓋  
似て紫色長丈  
大者徑二三寸葉  
莖葉に似て根  
皮もに紫色色



赤地利 春夏

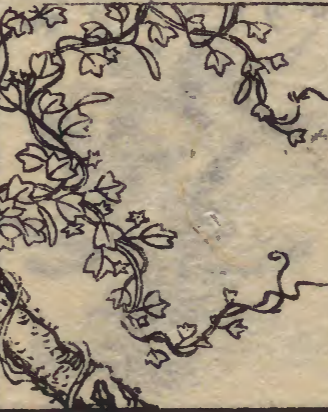
苗と生し蔓を  
なり草木の上と  
まゝ山草赤く葉  
ましく蕎麥より  
似たり七月白む  
下は粗かり

顔知子 蔓

生大木の上  
うへ葉緑三  
角わり面小く  
背淡し七八月  
実わり

千里光 葉ハ

菊に似く枝長  
幹圓くして葉  
背に毛あり秋  
莖葉と生して  
花わり黄色



使君子 三月

花と生し淡  
く久し深お  
五瓣あり六月  
実と結み大い  
子と散る

鐵枝牡丹 枝葉

牡丹の葉  
度わりて甚し  
小葉に縛り  
花開く細く  
て花散る

鐵線 鐵

別と生し三月  
根ととり用の  
土人腫毒と  
消し



馬兜鈴 苗生

て夜夢の如く  
葉山芋に似り  
六月実と結み  
七月実と結み  
大に終る

天壽根 台茹

に生し毎歳  
土貢り  
性涼し  
甚胸膈の煩  
熱と治す

威靈仙 生り

と衆草に比し  
最先葉柳不  
似し屬て車輪の  
式頭白く結み  
る



白英 蔓

生して葉ま  
く白毛わり夏  
秋の實やおとへ  
て赤

何首烏 春苗

と生れ山芋の如く  
其蔓竹木に延べ  
夏秋黄白花と  
開く子一棧わり  
秋又根とて  
大ハ拳の

番薯

近きよりくま  
さして利多し合  
して味く人  
をわりうり法  
とて



通草

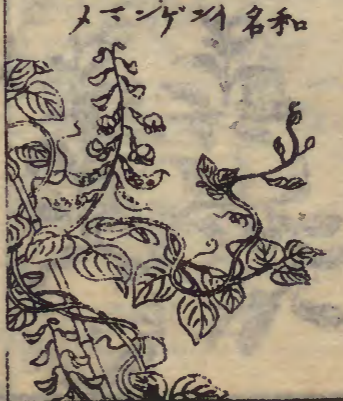
葉石葦に似て  
三葉相對に  
花白く實小木  
此の如くくら  
取券なり

眉兒豆

とら秋の葉  
のりく實多  
一葉葉なり  
實くさくさ  
をい

山豆根

豆根のより葉  
まく冬に用  
八月より用の  
一棧小根の如  
なりわり



南瓜

ひすふ圓にて  
西瓜のより色赤  
一葉七八蔓  
くい

金我鳥定虫

色淡黄のて形  
我鳥の卵の  
味ふ其美なり  
産兒の良か  
顔と名く

西瓜

結圓大  
のりく色  
加子金色又  
黒

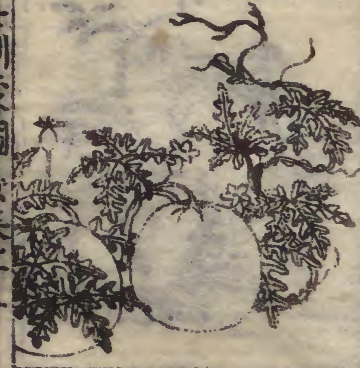
和名ホウライ



和名ヒメリン



和名スイカ



松栲

生にして甜瓜  
の如く細花七  
月の夕實む  
の下に在て拳の

蘿摩

生して厚  
あれとつら  
汁なり子ハ  
一羊角菜

石南藤

山中に生れ其  
苗のびく木上  
とて四時  
かま

和名カリン



和名イモイ



和名ウツ



獨用藤 施効

に生け四時葉  
ありつたは  
葉上に刺  
ありつたは時

瓜藤 四時

葉わら花は  
どろに  
時を

施効 生け  
會春藤 台効

に生け苗蔓  
木上よま  
冬夏青一土  
入葉とつて  
葉入つて



血藤 葉ハ

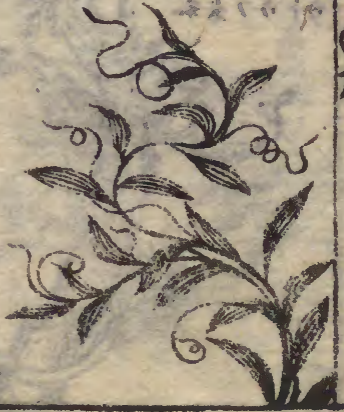
蒲蘭の如  
根ハ大指乃  
加一其色黄  
り五月は

鉤藤 葉ハ

細長 葉間  
は利わりく  
糸の

百稜藤 台効

に生け春苗を  
生け蔓木上  
ときよ花を  
葉入つて



祈 天台

山中に生け其苗  
蔓て木上とぬ  
よ四時つに  
わり土人其葉  
とよ

列節 苗葉

俱に丁公藤に  
似り花実ハ  
九月より  
とよ

落葉 籬垣

蔓延て七月  
の比蕃花かり  
葉圓て光潤ハ  
内熱冷入一  
實熟して空之  
地とよへし



落葉木 蔓

生て木とぬ  
よ葉形茶に  
似り花實ハ  
四月より  
とよ

百部 春苗

生一尚香葉  
くくゆらうら  
二入ころ実と  
かよとよ

石合草 其苗

葉わらむなし  
その葉乃味耳  
とよ



我鳥抱 山林

の中石に附て  
生し蔓と云ん  
葉大豆に似く  
根ハ菜に服し  
仰り大小あり

木鼈子 春苗

と生し蔓と云  
四月黄びと生  
六月實と結み  
拾葉に似く大  
其核鼈と仰り

千歳薬 葉ハ

薔薇とてその  
葉白汁ありて  
四月六月と  
ひらき七月ま  
とひす



乳根 蔓生

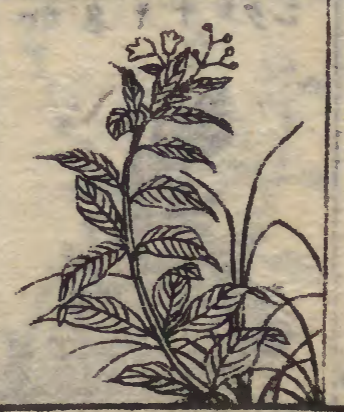
りて長二三尺  
葉は多うして三葉  
あり葉と乃以て白  
汁出つ根ハ蘿蔔  
のこころとて酸味  
又丸くもりては  
根と仰り

大青 苗高

三尺ころり葉石  
竹ノ類ノ葉圓  
長色ハ紫なり  
馬薔と仰り  
根黄色なり

小五月 三月

花と生れそ乃  
月葉と云り福  
州の土人生て  
つと確て毒藥  
を治り



麻黄

苗と生し夏長  
して一尺ころり根  
上に葉むわり  
実と結て百合  
瓣のこころと

地黄 二月

葉と生して地  
布と車前と  
似る葉上り  
離文ありて花  
は麻と似て  
此葉と云り

胡蘆巴 春苗

と生し夏子と結  
秋に至りて  
此種は南諸  
番に出す

ハカ名和 サクトラ



紫苑 苗と

生し其葉三四  
相つたり五六月  
のころに葉紫白  
花と仰り實と  
結て是ノ根と

雞腿兒 苗の

高七八寸細く  
鋸齒硬厚く背  
白一黄びと病  
根ハ指の太なり  
一名ハ翻白草

九牛脚 二月

苗生し独莖  
高一尺葉艾ノ  
似て圓く長一  
背に白毛あり  
面青

コシノ名和



ナチツ名和



陸英 春苗

と抽て茎の節  
葉と生は大一  
水弁の節より春  
夏葉と生は

水英 池沢

及の河海に  
生は汝人味て  
牛瀝の蜀郡  
の人其花と採  
て面薬の合は

白葉 葉ハ

沢源の似て小  
其形鴛鴦飛  
の似て根ハ慈姑  
乃の似て小圓根  
の似て水



穀精草 穀田

の中を生は葉  
葉の節に五月  
根花並に白色  
一名戴星草  
云ハその葉細  
く花白く圓に  
星の似る故

曲節草 四月

苗と生は茎イ  
節あり七八月  
花と生は荷  
の似る子と結

馬鞭草 春苗

と生して根牙に  
似たり又穀田  
敷いて茎圓  
寸三三三四穂  
と抽つる



水江 水

の地を生は焼心  
草に似て三角  
織く席の似  
藤易七島ヨリ出  
及三七島ト藤ヲ  
名ツク

纏腰 昂

蓮草 下濕の  
地に生れり二種  
つり葉柳に似  
光澤ありて馬  
齒刺の似二種ハ  
枯梗の似り

陸地脈 葉ハ

五月蒿に似く  
茎紫色花小  
穂と生は微  
茨細辛に似り



葶藶 苗ト

生は葉の高六七  
寸三月葉白と  
用く子角にて  
扁小赤花の似  
起るの後採り

海金沙 初生

して小株と云  
寸一二人七月  
採て日中ユビ  
依とて採り  
甚妙と依上

蛇含 玉石

の上或は下濕の  
地を生は葉五  
又七葉あせり  
葉細く花紫  
と佳し





青箱子 苗長

一三四尺葉闊  
柳に似たり莖ハ  
青紅色莖高ハ似  
たり七月花と  
開く上お下白  
子あり

敗將画 叢

生一花英色  
根此色紫明  
似陳敗豆醬  
の氣の故イ  
名にトコトエ

續断 其葉

葉似て莖方  
葉白く莖は  
花の似たり花ハ  
刺の

ウイケノ名和



シヘナミラ名和



ウメリドラ名和



龍葵 葉

圓く花白く実  
半赤なり加  
生ハ熱く食  
て煮て食

到不留行 葉ハ

尖小し又根葉  
の似たりわら四  
月花といひ  
生ハ莖下段  
生ハ

筆頭菜 春初

花と生ハ其形  
葉ハ似たり  
葉續草の未  
熟の出ハ食  
つる葉あり

キツホシウ名和



ヤシキキ名和



シクツ名和



火炭母州 莖赤

一七葉ハ細く  
葉ハ葉ハ似て端  
尖ハ夏白秋と  
ひらた秋實ハ  
わりて豆の

海根 山谷

一七葉ハ似て根  
葉ハ似て根  
葉ハ似て根

草綿 此草

秋花ハ似て實ハ  
似て綿と出ハ  
此草ハ胡桓武天皇の  
延暦十八年三御國  
出雲入漂着ニ由中  
此草ハ似て綿  
種ハ似て綿  
再ハ種と似て今  
ハ似て

キロツミ名和



キロツミ名和



水草ノ二種アリ



天名精 夏秋

枝と抽て薄荷  
の似たり花白  
して葉ハ松葉菜  
の如く小く  
香ハ氣味ハ似り

夾明子 苗生

一七高三四尺  
六七月花と開  
黄白色其子青  
緑豆の如く

連翹 苗生

一七葉長楡葉  
の如く莖赤高  
三四尺なり花  
黄ハ秋実の  
又一種蔓生者  
あり

コバタフマ名和



コバタフマ名和



コバタフマ名和



青政官  
内庫

農務局  
圖書

山鐵蕉葉  
蕨のこゝ根を  
そののこゝ根を  
狗脊サ微蕨の  
一種なり

霸王樹  
その  
形明色艶の如  
く色は赤い  
して判り易し  
と云ふなり

肉荵蓉  
西巻  
より出つ形蕪根  
の如く鱗甲  
あり列當  
と云ふなり  
入根テ西朝王樹  
とスルナカレ



丁香加苗 蔓生  
あつて甜き  
うの茎系刺す  
葉ハ牽牛葉に  
むも似たり  
子の小きなり

鹹草  
扶桑  
木の東に生る  
葉は青く  
味鹹し  
今ハ支那  
子わアアレタ  
此草を以て  
寫ルハ丈ハたの

黄花菜  
形ハ  
蓮葉に似て  
花は黄色  
と云ふなり  
和ノ七種  
タヒラコナリ

